

従来の健診コースに、

## 骨塩定量検査が追加になりました。

※健診費用は変わりません。

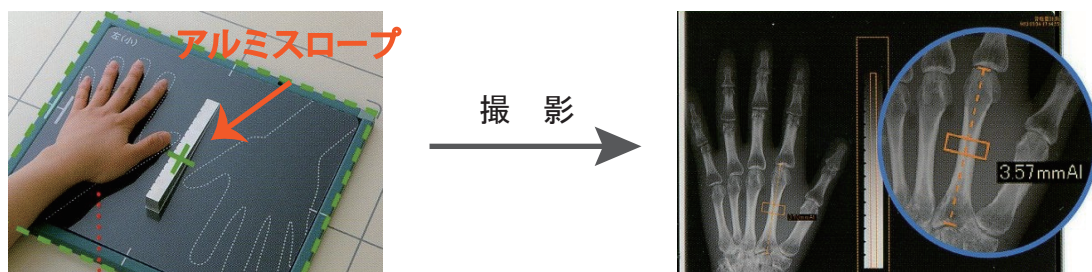
### 🦷 骨粗しょう症とは？

加齢や長年の生活習慣により骨がスカスカになって骨折しやすくなる病気です。骨粗しょう症はそれ自体が命を脅かす病気ではありませんが、骨粗しょう症による骨折から、要介護状態になる人は少なくありません。

### 🦷 どんな人が骨粗しょう症になりやすい？

年齢とともに骨密度は減っていきませんが、個人差があり、生活習慣(喫煙、飲酒、運動不足等)の影響を受けます。男性より女性(特に閉経期以降)がなりやすいです。それ以外にも、バセドウ病などの甲状腺機能亢進症、関節リウマチ、糖尿病などの病気や、胃切除後、ステロイド薬の長期内服などでも骨粗しょう症の原因となります。

### 🦷 検査方法 (DIP 法)



左手の第二中手骨と標準物質(アルミスロープ)を同時に撮影して、濃淡をコンピューターで読み取り、骨量を割り出します(X線撮影・実効線量0.003mSv程度)。結果は書面でご報告いたします。



適切な治療で、骨粗しょう症の進行をくい止めることができます。  
DIP 法にて骨粗しょう症と判定された場合には、腰椎や大腿骨頸部の精密検査を推奨いたします。

### ～ Information ～

2012年6月1日から関連施設の名古屋共立クリニックに  
**骨粗しょう症センター**がOPENしました。

薬物療法の他に、栄養指導や、転倒予防教室等を行い、患者様の症状に合わせた治療を行っています。

受診ご希望の方は、**当院までお問合せください。**

※骨塩定量測定はがん総合健診、成人病総合健診を受診いただいた際に行います。  
単独ではお受けいただくことが出来ません。

### ●お問合せ

東名古屋画像診断クリニック

☎ 0120-73-1714

受付 9～18時 (日・祝祭日休)

TEL: 052-764-1713